

現在も大口町役場より東日本大震災復興支援のため
宮城県南三陸町へ職員が派遣されています。

南三陸町派遣職員レポート

不定期でお送りしています南

三陸町復興レポート、今回は役
場本庁舎の完成についてお伝え
します。

昨年の2月から始まった建設
工事が今年の8月に竣工し、9
月4日(月)より新庁舎での業務が
始まりました。

新しい役場本庁舎は高台に建
てられ、非常時には外部に頼ら
ないエネルギー源として太陽光
発電設備や木質ペレットボイ



▲南三陸町役場新庁舎外観



ラーなどを備えており、実際に経
験した東日本大震災の教訓にもと
づく対策が取られています。

このほか新しい庁舎にはいくつ
かの特徴がありますが、その中で
代表的なものを3つ紹介します。

1 点目は、庁舎一階の正面玄関
側に設けられた「マチドマ」と呼
ばれるスペースです。カフェや台
所付きセミナールーム、パブリッ
クビューイングができるロールス
クリーンなどが設置され、サッシ
を解放すれば屋
外広場とも一体
的に利用するこ
ともできるス
ペースで、イベ
ントなどで住民
と町が協働で利
用することを想
定しています。
2 点目は、日
本の公共施設で



▲マチドマ



▲新庁舎内部

初となるFSC全体プロジェクト認
証を取得したことです。FSCとは
適切に管理された森林に関する国際
認証機関のことで、南三陸町産の杉
はこの国際認証を受けています。

この認証を受けた木材を原料・
製品の費用または体積の50%以上
に使用していることが全体プロ
ジェクト認証の要件で、役場本庁
舎と今年6月に開庁した南三陸町
役場歌津総合支所は、主要な建材
にこの杉を100%使用したこと
でFSC全体プロジェクトの認証
を取得することができました。

3 点目は、地中熱を利用した環
境に優しい空調システムです。深
さ100mの井戸を29本設け、地
中深くの安定した熱を利用する地
中熱ヒートポンプを用いた空調シ
ステムが、庁舎1階の大部分で利
用されており、二酸化炭素の排出
を抑えた地球環境に優しい設備と
なっています。

震災の翌年に仮設庁舎ができた当
時は、「新しい庁舎ができるのは10
年後くらいだ」という話も聞きまし
たが、その約半分の期間で新庁舎を
建設できたことは、順調に復興が進
んでいる証の一つだと思われま

道路功労者で表彰

平成29年8月30日(水)、愛知県一宮
建設事務所「道路功労者表彰」の
伝達式が開催され、(株)岩間機製作
所が表彰されました。

「道路功労者表彰」とは、公益社団
体 日本道路協会が毎年「道の日」
に道路事業の発展に貢献された団体
または個人に対し表彰をおこなって
いる事業です。

(株)岩間機製作所は、自分たちに
できることとして、平成15年度から
町道内津々線の清掃活動を行なっ
ており、今回、「道路の愛護、環境の整
備に多年にわたり献身的に精励し、
顕著な功績があった者」として表彰
されました。

